

プレゼントが当たる
読者アンケート付き!

TAKE
FREE

Asakura City Promotion Magazine

コシネアサクラ

vol.04 2025.9

今、朝倉に 「面白い!」が 集まっています

農と暮らしのリアルを追う、特集号。

- 1 あまおうのおいしさに魅せられて
家族6人・愛犬1匹のチャレンジ“海老澤誠さんファミリー”
- 2 地域に根差す、若き挑戦者
災害支援から始まった「援農」という挑戦“重松良輔さん”
- 3 女性座談会：農と暮らしのホンネト——ク!

WE ♥ ASAKURA

アサクラクリエイターズラボ誕生 × # 朝倉の好きなどこ

移住者 interview

01

海老澤 誠 さん
(東京都→朝倉市)
美香 さん
(太宰府市→東京都→朝倉市)

Profile

東京での10年間の暮らしを経て、2023年に朝倉へ移住した海老澤誠さん。きっかけは、妻・美香さんの実家から届いた「あまおう」。その濃厚な甘さに衝撃を受け、「これを自分で作りたい!」と心が動きました。農業に挑戦するなら、自然豊かで子育てにも適した場所がいい——そう考え、家族で朝倉への移住を決意。準備・研修を重ね、2025年に念願の農園であまおう作りをスタート。現在は、丈太郎くん、波琉乃ちゃん、康帆ちゃん、美鶴羽ちゃん(みづる)の4人の子どもたちと、愛犬・お絹とともに、朝倉での暮らしを満喫しています。

あまおうの衝撃が人生を変えた

▼誌面では語りきれない
海老澤家の魅力を動画で

東京から朝倉へ 家族とともに育む新しい毎日



- 「あまおう」がきっかけというのがすごいですね。改めて、朝倉に移住を決めた理由を教えてください。

誠さん (以下「誠」): 妻の実家が太宰府で、親戚が八女であまおうを作っていたんです。そのあまおうに魅せられて、「これを作れたら格好良い!」と思ったのが始まりですね。当時は福岡でしか作れない品種だったので、「やるなら福岡だ」と。妻に相談したら、二つ返事で「いいよ」って言ってくれて、「この人と結婚して良かったあ!」と心から思いましたね(笑)。



それから、ふくおかよかとこ移住相談センターにも相談して、地域のことや制度のこと、いろいろと聞きました。最終的には、八女が朝倉かで迷ったんですが、JAの研修が八女は定員で入れない人もあるって聞いて、朝倉に決めました。それから、移住相談に乗ってくれた朝倉市役所の「栗さん」が、先輩移住者として埼玉から移住して楽しそうに仕事をしている姿にも惹かれました。

美香さん (以下「美」): 私は実家が太宰府で、父の出身地が朝倉だったこともあって、土地勘がある朝倉の方が安心感がありましたね。車の運転も不慣れだったので、知っている道があるだけで心が落ち着くんですよ(笑)。正直、東京で子ども4人を育てていくことの方が不安が大きくて、田舎でのびのびと子育てしたいとずっと考えていたんです。朝倉を候補に家を探し始めて、ちょうど希望に合う古民家をリフォームした一軒家を見つけられました。今では、家族みんながのびのびと過ごせる場所になっています。

- 移住してすぐに農業を始められたんですか?

誠: 最初の1年はアルバイトで、イチゴ作りのほか、米や柿、サツマイモなどいろんな作物の栽培・出荷、とにかくいろんな作業を経験しました。中には海外に出荷している業者さんもいて、すごく刺激的で

したね。結果的に、有意義な1年だったと思います。当時お世話になった人から業務用の冷蔵庫やコンテナを譲ってもらったり、人の紹介で仕事が広がったり——ご縁でつながることがめっちゃ多いです。朝倉は本当に「人のつながり」が力になるまちだと実感しています。

そして、昨年6月から1年間JAの農業研修に入りました。研修中は、農業の基礎を学ぶだけでなく、地域との関わり方や、農業を仕事として続けていくための視点を心得る機会にもなりました。土地探しは自分でやるんですが、今のハウスも人とのつながりで出会って、実現できたんです。同期は6人いて、1人は途中で辞めましたが、今でも情報交換したり近況を報告し合ったりしています。それぞれ違う作物や地域で頑張っていますが、悩みや工夫を共有できる仲間がいるのはありがたいです。農業って孤独になりがちなんですけど、こういう横のつながりがあるだけで、気持ちがずいぶん違います。

- 実際に朝倉に移住してみて、どうですか?

誠: 最高です! 広い家に住めるし、子どもたちが家の中を走り回っても怒る必要がないです。子どもたちもすぐなじんでいます。近所の方たちもとても良い人ばかりで、子どもたちは、まるで自分の孫のように可愛がってもらえて、おやつや野菜、果物をよくいただきます。それから、学年問わず友達が家に遊びに来るんですよ。先日は、息子の誕生日に友達6人が泊まりに来て、とても賑やかな1日でした(笑)。東京では考えられなかったことです。朝倉は、誰が来ても受け込ませてくれる環境があるんじゃないかな。

- 農業は楽しいですか?

誠: 楽しいです。もちろん、体力的にきつい日もあるし、天候に左右されることもあります。でも、妻と長い時間一緒にいられることが何より嬉しいです。結婚して11年目になりますが、こうして一緒に働



Photo
 ①取材した7月はイチゴの育苗期。親株からランナーを伸ばし、子株を増やして切り離し、合計1万5000株に。今秋からの収穫・出荷を目指します。②イチゴ栽培のアルバイト。20代の頃、ワーキングホリデー（オーストラリア）でトマト栽培にも携わったこともあるそう。③東京では一家で手狭なマンション暮らし。隣の住人の名前すら知らなかったそう。④小学3年生の文太郎くんの誕生会



ABファーム

Instagram



📍 朝倉市桑原 1111-1
 📷 【作物】イチゴ



海外進出を見据えたファーム名 人生を変えたイチゴをこの手で

のどかな田園地帯にハウス4棟を構えるイチゴ農園。一口では食べきれないポリariumの一粒をかじると、口いっぱいに濃厚な甘みが広がる、自分の人生を変えたあまおうを自分の手で作るべく、就農1年目の今期は、計1万5000株のあまおうを栽培中。

将来的には法人化をして事業を拡大し、観光農園化や子ども食堂への提供、さらには海外進出など、構想は大きく膨らみます。

「朝倉市応援サポーター」にも登録している誠さん。自身のInstagramでは、家族も手伝う農作業の過程や朝倉での移住生活を面白おかしく発信しています。



けるのは本当に幸せです。作業の合間に交わす何気ない会話や、喜びを共有できる時間が、日々の原動力になっています。

美: 私も、こうして一緒に農業に取り組めるのはありがたいと思っています。子どもたちが農場に来て手伝ってくれることもあって、家族で過ごす時間が自然と増えましたね。

- 今後の目標は？

誠: まず1年目はJA全量出荷。そして、イチゴの栽培を安定させて、法人化を目指しています。自分が作ったイチゴで、誰かが笑顔になる瞬間をもっと増やしたい。東京や海外にも、自分の作ったあまおうを届けたいという夢があります。

それだけでなく、子ども食堂への提供や、観光農園の展開など、農業を通じて社会に還元できることをやっていきたいです。この前、息子の野球チームの子どもたちにイチゴを食べてもらったんですが、2人「イチゴ嫌い」って言ってた子が、「これ、すごくおいしい！」って笑顔になってくれて。あの瞬間は忘れられません。まずは、近所の子どもたちから。地域から受けた恩を少しずつ返す意味で、近いところから返してしていきたいですね。

- 最後に、移住を考えている人へメッセージをお願いします。

誠: 故アントニオ猪木さんの言葉を借りるなら、「行けばわかるさ」。興味があるなら、行く。やる。行かないで考えても、答えは出ません。朝倉に来て、本当に良かったと思っています。

自然の中でのびのびと暮らしながら、地域の人たちとつながっていく——。そんな暮らしに少しでも興味があるなら、ぜひ一歩踏み出してほしいです。朝倉には、受け入れてくれる人がいて、応援してくれる空気があります。僕たち家族がそうだったように、きっと誰かにととの「新しい毎日」が、ここから始まると思います。



朝倉での暮らしを覗き見！ 1日のスケジュール

《ある平日》

- 5:00 起床
- 5:30 お絹と農場へ
ひたすら農作業に打ち込みます
- 8:00 一時帰宅
娘たちを幼稚園へ送ります
送った後は美香さんと農作業
- 12:00 昼休憩
夫婦で仲良く昼ご飯を食べます
15:30 ころ娘たちを迎えに行った後、誠さんは再び農作業に打ち込みます
- 19:30 帰宅して夕ご飯
家族団らんの時間を楽しみます
- 21:00 就寝
子どもたちと一緒に寝ることが多い
最近は夜に韓国ドラマを観るのが楽しみです

Photo: 海老澤家のお気に入り♡
 上) 近所の散歩コース。「どこを見ても山が広がっていて、絵になる！」
 下) 鶏のたたき。「十文字醤油を合わせるとまた美味しい！」



《ある休日の過ごし方》

- 10:00 ごろから家族で、あまぎ水の文化村のウォーターレットへお出かけ。
じゃぶじゃぶ遊び倒した後は、Aコープ朝倉のかしわおにぎりをいただきました。



まとめ

- あまおうに魅せられて
東京から朝倉へ移住&就農
- 朝倉では人のつながりが力になる
- 家族みんながのびのびと過ごせる
朝倉での生活は最高！
- 朝倉の魅力は「行けばわかるさ」



移住者 interview

02

重松 良輔 さん
(大刀洗町→朝倉市)
裕美 さん
(福岡市→朝倉市)

Profile

2017年の九州北部豪雨をきっかけに、朝倉との縁が深まった重松良輔さん。災害ボランティア活動から農業へと歩みを進め、現在は杷木地域を中心に「重松農園」を営んでいます。柿やサツマイモを主軸に、地域や学生と協力しながら“みんなで作る農業”＝「援農」を実践。そんな良輔さんと数年前に出会い、共に歩む妻・裕美さん。裕美さんも農業に長年携わる経歴の持ち主。そんなふたりが朝倉で見つけた、新しい暮らしのかたちとは――。

災害支援から始まった「援農」という挑戦

朝倉で育む、ふたりの暮らしと未来

‐まず、朝倉との出会いについて教えてください。

良輔さん (以下「良」)：もともと隣の大刀洗町の生まれで、朝倉の高校にも通っていたので、縁はありました。大きな転機は、2017年7月の九州北部豪雨です。発災直後から大学の恩師の紹介で「杷木復興支援ベース」を拠点に、ボランティアとして住宅の土砂撤去や炊き出しなどに参加しました。当時は福岡市の会計事務所に勤めていて、毎週のように朝倉に通っていましたね。支援を通して地元の方との関係を築く中で、ある日、柿の農地を引き継ぐ話をいただき、思い切って仕事を辞めて農業の道へ進むことを決意しました。

‐農業は未経験だったそうですね。不安はありませんでしたか？

良：まったくのゼロからのスタートでした。もともと個人事業主としてやっていきたいという思いがあり、地域や家族のことに自由に動けるような働き方を目指していました。当時は、新規就農で年150万円の支援を5年間受けることができた（※現在は最大3年間）ので、それを収入の柱に、地元のおじいちゃんやおばあちゃんに教えてもらいながら始めましたね。「朝倉の力になりたい」という思いも強く、就農と同じ頃、若者の力で地域課題を「生業」にするという目標を掲げ、「一般社団法人Camp」も設立しました。すでに朝倉で暮らしていたようなものでしたが、正式に移り住むことになりました。

‐裕美さんが農業に関わるようになった経緯は？

裕美さん (以下「裕」)：以前はマーケティング会社で働いていました。でも、他人が作ったものを広めても「何も残っていかないな」と感じていて…。自社の商品開発に関わったとき、モノづくりの裏側まで見えてしまって面白くなかったんです。そこから「原料から自分で作るってどうだろう」と思い、農業に注目するようになりました。

それから、耕作放棄地の開墾から始めて、自分でトラクターに乗ったり（笑）。契約栽培のマッチングサービスを始めたり、6次化のアドバイザーとして、大刀洗町や糸島など福岡県内のあちこちで10年ほど活動してきました。今では「農業女子」ってよく聞きますけど、私はその走りだったんじゃないかなって思っています（笑）。

ある日、友人と秋月に遊びに行ったときに「知り合いの柿農家さんのところに寄ろう」と言われて、連れて行かれたのが彼の農園でした。そこで彼と出会って、「援農」を通じて意気投合したんです。

‐「援農」とはどんな取り組みですか？

良：援農は、繁忙期に地域の人や学生、企業の方が手伝いに来てくれる“みんなで作る農業”の仕組みです。農業を「体験」ではなく「生業」として捉え、報酬は「お金」ではなく、ご飯やお土産などの「気持ち」で返す。農業の現場を知ってもらい、朝倉の魅力を感じてもらうことを大切にしています。

裕：「援農」を通じて人が集まり、地域が元気になる。そんな循環をつくろうとしているんです。

良：大学のボランティアサークルとのつながりもあって、農園も盛り上がっています。昨年からは、不登校や発達障害のあるお子さんの農業ボランティアも受け入れるようになりました。その時にできそうな作業を設定して、イベント出展のお手伝いなどもお願いしています。

‐朝倉での暮らしは、いかがですか？

良：現場が近くなったのは大きいです。地元のつながりもさらに強くなって「大変だろうけど頑張って」と応援してもらえることが増えてきました。イノシシやシカが身近にいるのは、ちょっとしたギャップですね。

裕：四季折々のにおいが感じられるし、農作業の後に温泉に入れるのが何よりの感動ポイントですね。道の駅が近いのもポイント。朝倉





Photo

①長年連携を続けている福岡大学ボランティアサークル災害復興架け橋隊との物産展。6次化商品「柿の葉茶」も学生と協働で開発しました。②災害ボランティア活動 ③会計事務所で働いていた頃の良輔さん ④昨年、朝倉地域の若手農業者の組織「あさくら地域4Hクラブ」から福岡県の代表として、援農の取り組みを発表しました。ムクナ豆の栽培・普及や援農に力を入れている裕美さんと一緒に、一層「これまでの経験が自身の強み」と感じているそう。



重松農園

LINE Instagram



● 朝倉市杷木久喜宮 1305-1
 ● shigematsufarm@gmail.com
 ● [作物] 柿、サツマイモ、タマネギ など



朝倉の豊かな恵みを全国へ
 みんなで作る援農で広がる農の輪

杷木地域を中心に「援農」を実践する地域密着型の農園。学生や地域の人々と協力しながら、柿やサツマイモを中心に栽培しています。こだわりは、土壌分析に基づいた土づくり。安全・安心でおいしい作物を育てるため、日々研究を重ねています。
 加工品「柿のドライチップ」「柿の葉茶」などの6次化商品も展開し、オンラインショップで全国へ販売中。イベントやマルシェにも積極的に出展しています。農業体験や商品についての問い合わせも気軽にでき、「援農」を広く伝える拠点、そして朝倉の魅力を広く伝える拠点として進化を続けています。



は土も良いし、水も良いし、農のポテンシャルは本当にどこにも負けていないと思いますよ！

生活に必要なお店はそろっているので「何とかなる」という気持ちで来ましたが、いざ住んでみると、コンビニや愛用していたスーパーが徒歩圏内にはないのはちょっと不便に感じますね（笑）。その分まとめ買いをしています、このまちの攻略法を誰かもっと教えてほしいです（笑）。

- 今後の目標について教えてください。

良：「援農」をもっと広めたいです。「観光農園」にも力を入れて、この農園をもっとたくさんの方が農に関われる場所にしていきたいです。それと、お互いの経験を活かして、会計や原価計算、6次化などの相談も受けられるような自分たちのスタイルを確立していきたいですね。

裕：2人で一緒にやることで、これからもっと面白いことができるんじゃないかってワクワクしています。楽しいことやみんなで分け合えるようなことを考えるのが大好きで、「朝倉を代表するようなモノを作りたいね」とよく話しています。例えば、朝倉レモン、朝倉レモネード。朝倉のみんなで盛り上がりたいたらうれしいです。

良：妻がアイデアをたくさん出してくれるので、それをどうマネタイズするかを考えるのは僕の役割です（笑）。



- 最後に、読者の皆さまにメッセージをお願いします。

良・裕：移住を考えている人には、「行けば何とかなる」は難しいって伝えたいですね。まず、その地域にちゃんと通って、体験して、地域性を知ることが大事。自分の売り方やライフスタイルを構築して移住した方が良いと思います。朝倉はお試し居住もあるので、そういう制度を活用するのもおすすめです。私たちも移住者だからこそ、朝倉のことを客観的に伝えられると思います。地域を本当の意味で知る、そんなきっかけを届けられる存在になりたいですね。



朝倉での暮らしを覗き見！
 1日のスケジュール

《ある平日》

- 5:00 起床
- 6:00 農場へ
夏は暑さが厳しいため涼しさが残る10:00ごろまで農作業
- 12:00 昼食・休憩
昼寝をしたり、好きな時間を過ごします
- 15:00 農場へ
15:00～16:00の間で作業を再開します
- 21:00 帰宅
農場から自宅に帰宅する道中に買い物や食事をすることが多いです
- 23:00 就寝

Photo：重松夫妻のお気に入り♡ 原鶴温泉のやぐらま荘。ボランティア時代からお世話になっている温泉。カヤックやSUPなどのアウトドアアクティビティも楽しめます。



《ある休日の過ごし方》

決まった休日はありません。雨の日や気分が乗らない日は、ただらと家で過ごすことが多いです。気分転換にお買い物へ出かけても、自然と農業資材コーナーが気になります（笑）。



まとめ

- 地域とのつながりが導いたゼロからの就農
- みんなで作る農業「援農」
- 朝倉は土も水も良く、農のポテンシャルは最高の地域
- 人と人の掛け算でもっと面白く



農

と暮らしのホンネトーーーク！ ～朝倉で生きる私たち～

▶「出会って結婚した相手がたまたま農家」「自分で朝倉で農業をしたい！」——。就職や結婚、そして「農」との出会いをきっかけに朝倉に移住した4人の女性たち。それぞれの人生の選択と、今の暮らしにある「農」との関わりを語っていただきました。



Photo: 座談会はコネアサクラ 2 階で開催しました

信ちゃん果樹園



📍 朝倉市須川 3127
☎ 080-6409-5872
●【作物】ブドウ、柿、イチゴなど

祖父の代から3代続く果樹園。クローラ栽培や有機肥料を活用し、「自然に人にやさしい農業」を実践しています。フルーツ狩りが楽しめる観光農園としても人気で、家族連れや子どもたちの笑顔が楽しめる場所です。



信ちゃん果樹園
本園 千夏さん
【佐賀県→朝倉市(2010年～)】



さちまる農園
今泉 朋美さん
【糸島市→朝倉市(2018年～)】

さちまる農園



📍 朝倉市徳測 844-1
☎ 070-4082-6599
●【作物】ニンジン、ミニトマト

有機 JAS 認証を取得し、安心安全な野菜づくりにこだわる仲良し夫婦の農園。農業を使わず、自然の恵みを大切に真心込めて育てています。旧家をリノベしたカフェも展開。採れたて野菜&しぼりたてジュースをぜひ。



手嶋農園



📍 朝倉市三奈木
●【作物】梨、米

朝倉の豊かな自然の中で、梨と米を中心に育てる家族農園。みずみずしい美味しさが広がります。



アダチ果樹園



📍 朝倉市杷木志波 4478-1
☎ 0946-62-1407
●【作物】柿、ブドウ、イチジク

戦後から山の南斜面に広がる柿畑でさんさんと太陽の光を浴びて育った自慢の「志波柿」を誇りに、60年前からブドウも栽培し、今も家族で心を込めて育てています。柿狩り・ブドウ狩り体験も大歓迎です。



▶ 朝倉に来たきっかけは？

足立さん (以下「足」): 出会って結婚した相手が朝倉の農家だったことがきっかけですね。結婚を機に、埼玉から朝倉に移住しました。両親からは「人生、何が起るかわからないから面白いね」と背中を押され、勢いで来ました。同居で相手の家族の中に入っていくことになるので、周りから「やめた方がよいよ」と言われましたけどね(笑)。今は、市役所の農業振興課に勤めています。

手嶋さん (以下「手」): 私も同じく、結婚がきっかけです。義両親とは近居で、一緒に農業をしています。一緒にやる覚悟はありましたね。本園さん (以下「本」): 私は朝倉の老健施設に栄養士として就職したのが始まりです。その後、先輩に連れられて行った飲み会で夫と出会い、結婚。仕事を続けていくつもりだったんですけど、子どもが生まれ、小学校に上がる頃、夫から「イチゴを始めたい」と相談されて——。収支を計算して、生計を立てられる見込みも立ったので、5年前に思いきって仕事を辞めて農業に専念するようになりました。

今泉さん (以下「今」): 私は糸島で就労支援施設で働きながら少し農業に関わっていたんですが、本格的に有機農業を学びたいと思って朝倉のアグリガーデンスクールに入りました。スクールで今の夫と出会って、「一緒に朝倉で農業をやろう!」と意気投合したんです(笑)。

▶ 農業との距離感、家族との関係。想像と現実のギャップは？

今: 私は「嫁ぐ」という形ではなく、「二人で一緒にやる」前提で農業を始めました。両親の手助けや気遣いが無い分、自分たちで自由にやれている感覚があります。正直、無農業で農業をすることに周囲の理解が得られるか不安もありました。でも、実際は適度な距離感で親切にいただいています。今の農場を紹介してもらったのも人のご縁。農場と家が離れているのも、かえって良かったのかもしれない。地域に子どもが少ないので、「子どもの声が聞こえるのがうれ



手嶋農園
手嶋 絵理子さん
【宗像市→朝倉市(2024年～)】

アダチ果樹園
足立 早希さん
【埼玉県→朝倉市(2018年～)】

しい！」とご近所さんと言っていただけでもありがたいです。

手：前職は営業職だったので、農業の現場は毎日新しいことの連続です。作業を手伝う中で、農作物を育てる大変さとありがたみを実感しています。

足：実は朝倉に来る前、MT車の免許取得ができず、結婚をやめようかと思った時もありました(笑)。朝倉での暮らしは、自然の中で心地よい反面、農家の嫁としての役割や地域との関わりには気負いもありました。そんな中、朝倉市をもっと知ろうと思って市役所に就職しました。地域の農家さんたちの思いや課題に触れる中で、「自分の立場だからこそできることがある」と感じています。

本：農業って、家族の生活そのものなんですよ。私はパートナーに恵まれたなあと感じています。仕事を辞める転機となった5年前には、採算性や家族のこと、将来のことなど、とことん夫と話し合いました。やっぱり会話が大事。子どもたちも畑に出て、季節の移ろいを肌で感じながら育っています。「この暮らしがあるからこそ、家族の絆が深まる」と実感しています。

▶ 朝倉での農業ってどんな感じ？

本：「朝倉のフルーツがおいしくて、自分のお店で使いたくて来た」という人が増えている印象があります。近所のケーキ屋さんやカフェなど、直接卸しているところも増えてきました。飲食店がもっと増えるとうれしいですし、お店と農家をつなげる仕組みがあるといいですよ。農家って、口約束で取引するケースも多いので、契約書や約款などの書面でのやりとりも大事だと思います。

足：実際、農家さんとお店の間で「契約は書面で取り交わす」といった意識も出てきている気がします。朝倉で頑張っている者同士、Win-Winの関係になれるような仕組みづくりは、私自身も取り組みたいと思っています。

今：以前ズッキーニを作ったとき、1本45円まで価格が下がったこ

とがありました。みんなが一斉に作ると市場価格が下がってしまうんですよ。頑張って作ったのに～！って(笑)。

足：ズッキーニやミニトマトは比較的参入しやすいという面がありますよね。だからこそ、多少のキズモノを飲食店に使ってもらえるような仕組みがあるといいと思います。お店側は、いろんな食材を少しずつ欲しいと思っているので、自分で道の駅に買いに行く人も多いです。「朝倉の〇〇さんの作物だから買う、使う！」という流れができると理想的ですね。

▶ 朝倉で農業を始めるとしたら？

足：本来は、地元の人から情報を聞いて始めるのがベストだと思います。米に向いている土地、野菜に向いている土地、果物に向いている土地——それぞれに適した場所があります。借りた土地が、実は自分の作りたい作物に合わなかった、というトラブルもあるようです。

本：正直、田舎なので「よそ者には来てほしくない。先祖代々の土地を守る」と思っている人も少なくないかもしれません。でも、外から来た人の視点ですごく大事だと思うんです。地元のやっかみにもまれても頑張れる人！「農業したい！」という気持ちで来れば大丈夫です。壁にぶつかったときに誰かに相談できる環境があるといいですよ。私たちが、そういうふうに関わりをされるような存在になりたいね！って、夫とよく話しています。

今：仮に不作のときでも「何とかかなる！」と思えるかどうか大事だと思いますね。「次はどうしよう？」と思えるかどうか——。

▶ 私たちが描く、これからの暮らし

本：不作のときは、外に働きに出ることもあります。農業一本にこだわらず、柔軟に動けるのも、私たちの強みかもしれません。

足：それって、みんな、他の仕事も経験してきているからできる発想かもしれないですよ。だからこそ選択肢が広がる——。

本：そうなんです。うちの農園では、若い学生を就農体験で受け入れるとき、夫はいつも「就農する前に、一度外で2～3年働いてみることをすすめています。社会のいろんな面を知ってから農業に戻ると、見える景色が違うですよ。」

手：農作業は地味で大変なことが多いかもしれませんが、他の職業では得られないことも学んでいけるといいですね。作物が育ったときの喜びは格別なので、たくさんの方に知っていただきたいです。

今：私たちも、良くも悪くも農家のセオリーがまだまだ分かっていないことがたくさんあると思っています。その分、自由度は高いので、生産のみにとどまらず、変化しながら成長していけたらと思います！

本：今、本当に農業が楽しくなって思うんです。苗を準備して植え付けて、生育して、収穫して——フィードバックして。年に1回しか経験できないんですよ。それを一生で50回くらいしかできない。その繰り返しの中に、やりがいがあるんじゃないかなって最近思うようになりました。近所に、何十年もブドウを育てているおばあちゃんがいるんですけど、こう言うんですよ。「ブドウのことは分らん」って(笑)。その言葉が、すごく深いなと思っていて。どれだけ経験しても、思い通りにならない。でも、それが農業の面白さなんですよ。

＼ 朝倉で待ってます！ /





[Information]



「朝倉市クリエイター塾 2024」を機に誕生した市民映像クリエイター有志からなる団体。映像制作はもちろん音楽やデザインなどさまざまな制作活動やスピンオフ企画の実施を目指します。「朝倉市クリエイター塾 2025」の運営サポートも行います。

▶ 気軽に問い合わせください
・映像制作相談
行政・法人・個人など問わず
✉ asakura.creatorslab@gmail.com

「コンネアサクラ」から広がる発信、つながる仲間

朝倉市では、地域の魅力を自ら発信できる市民映像クリエイターを育成するプロジェクト「朝倉市クリエイター塾」を2024年度に開講しました。「合志市クリエイター塾」との共同開催で、講師は『ゴジラ-1.0』など豊富な実績を持つ映像制作会社ROBOTが担当。2024年度は、市内外から参加した39人が6チームに分かれ、映像制作に取り組みました。

「朝倉を盛り上げたい!」と、熱い思いがあふれるクリエイター塾。うち11人は、修了後も「朝倉市魅力創出クリエイター（通称：アサクラクリエイター）」として活躍の場を広げ、朝倉の「面白い!」を市民目線でどんどん発信しています。また、有志により「アサクラクリエイターズラボ」という団体も誕生。行政・法人・個人などの受注を通じた映像制作を行う動きも出ています。

2年目のクリエイター塾も8月から開講。引き続きROBOT等から学習しながら、映像制作に取り組みます。



Interview

アサクラクリエイターズラボ 代表



三船 セージさん

和書体アーティスト。イベントパフォーマンスや筆文字アートのおオーダー作成のほか、ロゴ・映像の各種デザインなどを全国で手掛ける。コーヒーバリスタ業も行う「幅広い」クリエイター。

朝倉の奥深さと面白さを知れた体験

クリエイター塾では、映像の撮り方などの技術面はもちろん、「何を誰に伝えたいのか」「伝える先に何を求めるのか」といった「撮る前こそ重要」だと気付かせるような内容で、とても貴重な学びとなりました。また、後半のチーム制作では、企画の立案からクライアントへの提案、実際の撮影など、個人ではできないような経験ができ、とても楽しい時間となりました。

私自身は朝倉市外からの参加でしたが、とにかく「朝倉、面白い!」と思いました。本業で秋月などはよく訪れていますが、朝倉にはまだまだ自分の知らない魅力がたくさんあることに気がきました。朝倉の奥深さと面白さを知れた体験になり、とても感謝しています。

WE ♥ ASAKURA # 朝倉の好きなどこ
♥ 筑前秋月和紙処



1枚1枚丁寧に伝統の製法で作られる手漉き和紙は様々な作家さんに愛されています! 素敵な和紙を、歴史が紡ぐ四季折々の景色と共にぜひご覧ください!

ワイワイモクモクと、もっと面白く!

そして、「朝倉が好き!」な塾生同士で交流を深められたこともとても大きかったです。コンネアサクラを起点に、ワイワイモクモクと気軽に情報交換し合ったり、相談し合ったり——。塾を通してつながった人脈はかげがえのないものとなりました。

アサクラクリエイターズラボが生まれたのは、塾を通して出会えた人脈や映像制作の機会を終わりにしたくなかったからです。市内外の人たちが「朝倉が好き!」からつながり「朝倉を応援する!」——。この流れがかたちになれば、朝倉はもっと面白くなると思います。朝倉の魅力を発信するお手伝いとして、そのつながりを大切にしつつ、塾での経験を生かしていきたいです。ラボでも今後さまざまな企画やサポートをしていく予定です。

WE ASAKURA

アサクラクリエイターズラボ × # 朝倉の好きなどこ

5人のメンバーに、それぞれの「# 朝倉の好きなどこ」を語ってもらいました。



♡ 山と自然

朝倉でいちばん好きなのは、やっぱり山です。母の里・佐田で、子どもの頃から野山を駆け回り、夕暮れに鳴くひぐらしの声。蚊取り線香の香りと共に夏の記憶が今も心に残っています。

季節ごとに表情を変える山の中で、ただ息をするだけで心が整っていく。春の若葉、秋の風、すべてがごちそうのようで、山で食べるおにぎりの味は格別です。あの頃も、今も、変わらず山は私の原点です。



牟田 真人さん

渋みと心地良さが印象に残る「深夜おじさん食堂」シリーズなどを手掛ける、Instagramフォロワー3万人以上の人気クリエイター



♡ cuwano. Books Cafe Space

オススメスポットは、cuwano.です。カフェと本屋さんがドッキング、2階にはコワーキングスペースがあり仕事や学習ができます。毎月コンサートも開催していてイベント盛りだくさん。クラフトビールで乾杯！癒しの空間です。



和田 克彦さん

朝倉の市民活動に積極的に関わり、趣味の域で30年以上映像をつくる、機材も豊富で頼れるベテランクリエイター



Photo 恵蘇八幡宮、もやい広場、山田堰

♡ 歴史

両親が仕事の都合で旧甘木市に引っ越してきたのは、私が生まれてすぐと聞いています。

物心つく頃から住んでいるこの地域の自然と歴史が大好き。

何気ない道端にある道祖神の石碑や、何のために作ったのかよくわからない遺跡、人々の信仰を集めた神社やお寺など、いにしえの人々の声なき声を聞けるようです。

朝倉は、百人一首の一首目の縁の地。日本人なら誰もが知る1ページに故郷が記されていることは光栄なことだと思います。



佐々 姫句己さん

起業コンサルタントとして活動しながら、AIやCanvaを活用した映像・音楽制作にも取り組む、感性派クリエイター



♡ 実家近くの田んぼ

実家・金川地区周辺の田んぼから感じる四季が好きです。黄金色の麦や真っ白な雪が日々の暮らしの感謝やこれ以上を求めない気持ちにさせてくれます。雪に溶け込む母の姿も、愛おしい風景のひとつです。



田子森 堅也さん

医療系の本業の傍ら、日頃から音楽のMVや企業のショート動画を制作する実力派クリエイター



♡ 図書館

図書館のあの空気感が好き。

市内には雰囲気異なる図書館が3館。それぞれ車で30分圏内と気軽に行ける距離なので、その日の気分で場所を選ぶのも楽しみのひとつです。日常の中のささやかな贅沢時間。心がずっと整う場所です。



草場 鷹将さん

塾を修了後、2025年、株式会社「アソビゴト」を設立し、映像制作も本業にしていくなかで「フツ軽」クリエイター

あさ暮らしが選ばれる理由 04選

01 近さがうれしい



朝倉市は、人々の暮らしに潤いを与える、水の恵みあふれるところ。福岡県のほぼ中央部に位置し、市の北東西の三方を山々に囲まれ、南には九州一の大河 筑後川が流れています。福岡都市圏へのアクセスも良く、車で約40分。近くで登山やハイキングも楽しめます。豊かな自然に囲まれているため、新鮮な野菜や果物が簡単に手に入ります。自然、食材、レジャー、人、そして文化——それら全てに近い暮らしができる場所です。



02 のびのび遊んで、すくすく育つ 子育て環境



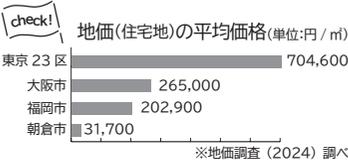
遊んで学べる！体験イベントや「あまぎ水の文化村」など、子どもたちがのびのび成長できる環境が整っています。

- check!** 保育・教育施設の数
 保育園：15 / 幼稚園：3 / 認定子ども園：3
 小学校：11 / 学童保育所：16 / 中学校：6
 高校：3 / 専門学校：1
- check!** 安心して子育てができるよう支援
 ・保育園の待機児童はほぼゼロ ※年度途中は発生する場合があります
 ・就学前の子どもの医療費や小・中学生の入院費を助成、ファミリー・サポート・センターあり、つどいの広場・地域子育て支援センターあり など

03 都会と比べて、広い家に住める



物価、地価、民間賃貸物件の家賃相場など、あらゆる面で都会と比べて安価に暮らすことができます。



04 充実の移住・定住支援



「朝倉来んね〜良いとこよ!」の思いを込めて、移住・定住のための支援制度や相談会が充実しています。2024年4月、朝倉市移住定住交流センター「コンネアサクラ」オープンなどをきっかけに、「朝倉への移住」が注目されています。朝倉市では、移住者交流会を定期的に開催したり、移住者の受入に積極的な移住受入モデル地域もあります。お気軽にご相談ください。

check! あさ暮らしお試し居住ハウス
 朝倉市への移住を考えている人に、無料で移住体験ができる住宅「あさ暮らしお試し居住ハウス」を用意しています。予約制で、利用期間は3日間～2週間。滞在中は、希望に応じて、希望場所への案内や先輩移住者との面会、農業体験などオーダーメイド型の移住体験ができます。

check! あさ暮らし移住・定住支援金
 朝倉市外から朝倉市へ移住した人に、単身での移住・定住で最大30万円、世帯での移住・定住で最大50万円支援します。年齢要件などがあります。



詳しくは市HP ▶  ご確認ください



これからの注目ニュース！
次号以降で詳しく紹介！

2026年1月

未来へつなぐ、朝倉の新たな顔 新市庁舎がいよいよ開庁！

2026年1月、朝倉市の新市庁舎がいよいよ開庁します。老朽化した旧庁舎に代わり、地上5階建て・免震構造の新庁舎は、行政機能の集約や利便性向上を目指しています。総合市民センターとの連携動線やバリアフリー対応など、誰もが使いやすい庁舎として、朝倉の新しい行政の拠点となります。

そして、同年3月20日、朝倉市は市制施行20周年を迎えます。甘木市・朝倉町・杷木町の合併から20年。節目の年にふさわしく、1年を通じて市民提案による記念事業や地域交流イベントが多数開催されています。



■ぞくぞくと「面白い！」イベントを企画・準備中！

✓10月19日(日) 空き家見学バスツアー

▶事前予約制。半日程度で、朝倉市内のおススメの空き家を3件ほど回ったり、生活環境や支援制度のご案内をしたりします。朝倉での移住生活を思い描くのびにピッタリの機会かもしれません！

✓10月26日(日) 朝倉市内周遊バスツアー

▶朝倉市応援サポーターを対象に朝倉市内を巡るバスツアーを開催します！バスツアーの冒頭にはSNS活用講習会も実施します。朝倉市の魅力を体感し、SNSで発信してみませんか。朝倉市応援サポーターの詳細はこちらから▶



Photo : 2025年11月の竣工を目指して、安全第一で工事が進められています。

皆さまのご感想をお寄せください！

朝倉市シティプロモーションマガジン「コンネアサクラ」はいかがでしたか？
下記二次元コードから、簡単なアンケートにご回答ください。今後の企画に役立ててまいります。
抽選によりプレゼントが当たります！
当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。



プレゼント

朝倉の農加工品セット
(協力) 重松農園「柿ドライチップ・柿の葉茶セット」、信ちゃん果樹園「ブドウジュース」、さちまる農園「こんじんジュース」

応募期限

2025.
10/14(火)

キーワード

行けばわかるさ

何が当たるかお楽しみ！

編集後記

Interviewer

移住・定住をお手伝いする中、いろんな方とお会いする機会が多く、紹介したい方はまだまだたくさんいらっしゃいます。移住への考え方も人それぞれ。今号の農業のお二人は「行けばわかるさ」「事前の下調べが必要」と、特に対照的ですが、二人とも朝倉で楽しく暮らしている様子。万人に共通する正解はないと感じました。今後も、それぞれの正解を見つめられるお手伝いができればと考えています。

Illustrator & Designer

朝倉に来て3度目の夏でしたが、毎日暑く、ネッククーラーが手放せませんでした。そんな中、廣八堂の葛アイスにどハマりしてしまい、クーラーボックス持参で買いに行くほどの大好物になりました！朝倉は野菜や果物をはじめおいしいものが多いので、これからもお気に入りをもっと増やしていきたいと思います！皆さんのオススメもぜひ教えてください。

Editor

今号から本格的に制作過程に生成AIを導入。よりキャッチーに言い換える？この記事はブラッシュアップして。——想像以上の答えが返ってくる。ここ1年のAIの進化に心底驚かされながら、今号では久しぶりに一眼レフカメラも握った。目の前の人の魅力を、最大限引き出して、瞬間を切り取る。これはやっぱり人の業。AIとは上手に付き合いながら、やっぱり人間本来の感覚も大事にしていきたいですね。

Asakura City Promotion Magazine

コンネアサクラ vol.4

コンネアサクラ

朝倉市シティプロモーションマガジン
2025年9月発行

[制作]

朝倉市シティプロモーション課
(朝倉市移住定住交流センター コンネアサクラ)
〒838-0068
福岡県朝倉市甘木 1315-1

[協力]

株式会社スタジオナナ(朝倉市応援サポーター)
ABファーム / 重松農園 / 信ちゃん果樹園
さちまる農園 / 手嶋農園 / アダチ果樹園
やぐるま荘 / アサクラクリエイターズラボ
筑前秋月和紙処
cuwano. Books Cafe Space

[Special thanks]

取材・制作に協力いただいたすべての皆さん

[印刷]

株式会社四ヶ所



「コンネアサクラ」は電子ブック版で読むこともできます



朝倉市シティプロモーションマガジン コンネアサクラ 検索

朝倉市の情報を各SNSでも配信中です



株式会社『田舎暮らしの本』 **住みたい田舎ベストランキング** (2025年版)
 北部九州エリア 総合部門 **第3位** 移住者増の人気地ベスト100 全国 **第17位** にランクイン!

[Information]



『田舎暮らしの本』の恒例特集「住みたい田舎ベストランキング」(2025年版)が2025年2月号にて発表されました。今年で13回目となるこのランキングには、全国547市町村が参加。移住支援や子育て、自然環境など約300項目から、部門別にランキング形式で紹介される企画です。

[Photo]

朝倉市移住定住交流センター「コンネアサクラ」前にて、朝倉愛があふれる移住者の皆さんたちと喜びを分かち合いました。若い移住者も増えています。



[Map]



- ① ABファーム ② 十文字醤油 ③ あまぎ水の文化村 (P1-2)
- ④ JA 筑前あさくら農業研修施設 (P1-2)
- ⑤ 重松農園 ⑥ やぐるま荘 (P3-4)
- ⑦ 信ちゃん果樹園 ⑧ さちまる農園 ⑨ アダチ果樹園
- ⑩ アグリガーデンスクール&アカデミー (P5-6)
- ⑪ 筑前秋月和紙処 ⑫ Cuwano. Books Cafe Space
- ⑬ 中央図書館 ⑭ あさくら図書館 ⑮ はさき図書館 (P7-8)
- ⑯ コンネアサクラ



[Access]

福岡空港	車	約40分
博多駅	JR 鹿児島本線	約35分
博多バスターミナル	車	約40分 (高速道路利用) or 高速バス
	西鉄バス	約60分
西鉄天神駅	西鉄天神大牟田線	約20分
天神バスターミナル	西鉄バス	約40分
	西鉄天神大牟田線	約30分
	小郡駅	約20分
	車	約40分 (高速道路利用) or 高速バス
	高速バス	約50分